

# 感謝状

株式会社クラダシ 様

貴社は当社団がすすめる相互扶助の社会づくり社会福祉及び資源・環境保全の増進のために寄付(39,530円)をされ 当社団の公益目的事業推進に多大なご貢献を賜りました  
よってここにそのご厚意に對し深く感謝の意を表します

2021年4月28日

公益社団法人フードバンクかながわ



代表理事 當具伸一



代表理事 吉坂義正



# フードバンクかながわ 通信

## 「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



28号

### 川崎医療生協が フードパンtry(食料支援)を始めました。

2021年2月27日（土）14時から川崎医療生協 協同ふじさきクリニックの駐車場で食料支援を行いました。

地域の団体と連係して、独居高齢者やひとり親家庭、生活困窮家庭など食支援が必要な方にお知らせしました。第1回のこの日は50名の方がお越しになり食料をお渡ししました。

自転車でこられた高齢の男性は食料をもって嬉しそうに「ありがとう」と言って帰っていました。また3人のお子さんを連れたお母さんはベビーカーをひきながら二つの大きな袋を持っていました。

ソーシャルワーカにより生活・医療・介護の相談を行い、外国の方からは一緒に暮らしていた方が母国に帰ってしまい、話し相手もない寂しい。飲食店で働いている単身女性は、これまで週に5日働いていたがコロナの影響で週に1日なり、収入が1か月1万円から2万円になってしまった。年金も少ないので生活が苦しい。離婚してこども4人と一緒に実家に帰ってきたが親が認知症となり、子どもと親の面倒を見なければいけないと相談された方もいらっしゃいました。コロナの影響もあり、暮らしが厳しい状況になっています。

今後は毎月、第4土曜日の午後に協同ふじさきクリニックの駐車場で食料支援を行います。（取材：薩本）

取  
材

### キャベツお届けしました！

JA神奈川グループから大根（既報）とキャベツの提供があり、よこすかなかながや他、多様な団体・社協に届けられた。

よこすかなかながやは週5日の朝食、週3日の夕食を提供する子ども食堂。2月17日 JA神奈川県中央会・連合会大川会長、三浦市農業協同組合杉野組合長、三浦産キャベツ仕様の無添加ハンバーグを販売する石井食品（株）の松井さんがなかなかや代表和田さんに手渡した。



左：杉野組合長・大川会長・和田さん・  
右：フードバンクかながわ倉庫にて

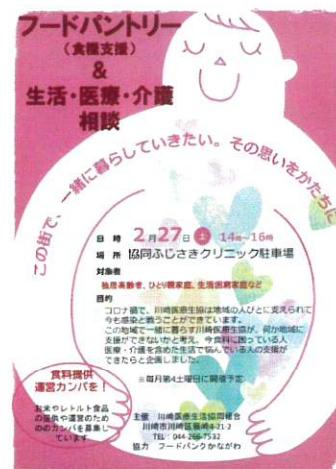
### 食パン専門店と地域の活動マッチング

逗子市銀座通りの食パン専門店から販売しなかったパンを地域の団体に提供したいとの連絡があり、COCOLOの会吉原さんを紹介。吉原さんは逗子市で学習支援・居場所活動を展開する若者だ。様々なネットワークを活かして、販売しなかったパンがあったときは、地域の子ども食堂などにつないでいる。子どもたちは（大人も）感動して食べるおいしいパン。



COCOLOの会吉原さん

### 地域でマッチング！



### 神奈川県共同募金会

写真：中島事務局長と細川さん  
購入した食材

募金会の助成金により不足しがちな副食品（レトルトカレー3120個、カレールー2000個、サンマ缶詰1200個、中華丼素1680個）を購入。



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com)

236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

TEL 045-349-5803

発行責任：藤田 誠



### 「鏡餅」との闘い！

鏡餅クラダシ400kg、  
ユーロープ50kg

毎年正月明けは鏡餅の解体作業に追われる。㈱クラダシから鏡餅が400kg提供された。正月仕様の飾りがついた餅の飾りを外す作業は手作業でやりきる。鏡餅に成形したプラスチックの中に1個から複数個切り餅が入っており、ごみは紙、プラスチック、燃えるものに分類する。ダイダイ、牛・猫などのミニチュアは子どもたちが喜ぶ。作るとき、外すとき、大変な手間がかかっている鏡餅だ。プラスチックの量も半端ではない。ボランティアさんの力が発揮された。



### ㈱クラダシとは

クラダシは社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム

「KURADAH」を通じてフードロスゼロを目指す。具体的には廃棄される予定となった食品の再流通させる仕組み。フードバンクには廃棄予定の災害備蓄品・販売の難しい食品などが寄付される。

## 基本情報 2020年度の累計 (2021/2/26現在)

寄贈された食品 1092回 191.0t

企業等 376回 136.8t  
フードドライブ 716回 54.2t

1月は寄贈 14.5トン  
提供 11.2トン

提供した食品 2053回 171.2t

行政・社協	562回	42.9t
地域のフードバンク	330回	47.3t
こども食堂等	787回	52.9t
自立支援施設	69回	3.1t
福祉・病院関係	305回	24.6t
調整		0.4t

(2019年度実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

2月の状況 2/1~2/26 寄贈 27.1トン 提供14.5トン

【寄贈食品】27.1トン

事業者 21.7トン  
フードドライブ 5.4トン

以下敬称略で  
報告します。

### 寄 贈

日生協より菓子等187kg、クラダシより防災ビスケット・鏡餅16,000個、コカ・コーラ6,600本の飲物、JA中央会キャベツ520個、生活クラブごぼう茶1560個、神奈川県共同募金会カレー等8,000個、防災備蓄品は(株)東邦製作所よりパン缶48個、横浜市水道局アルファ米654個、横浜市信用保協会パン缶303個、箱根登山鉄道防災セット237個、創価学会パン缶等12,157個の寄贈。

### 米一合運動

2月は900kgの米が寄付されました。  
開始以来3.4トンの結集量です。

### フードドライブ

ユーモア1月度の全店での実施、ヨーカドーフードマーク、生活クラブ全センターのフードドライブで倉庫の棚は満杯になっています。(下の写真)

### 提 供

横浜市・横浜市母子寡婦福祉会や地域のフードバンク、こども食堂からフードパントリーに移行した団体が一人親支援に力を入れており、提供量が増大。相模原市こども若者支援課は、引き続き学生支援を継続しており飲料を中心に、毎週まとまった量の食品を提供。新規の食品提供団体としては、厚木市の「子育てサポートwith Mammy」に食品を提供。ブラジルソリダリオなど、外国につながる人々への支援団体からの要請が急増。(報告:土山)

## フードドライブの輪

皆様の温かい気持ちがフードドライブに込められました。ありがとうございます。

生活クラブ生協9センター約4t超(まだ計量できていない)



上・左: 生活クラブのフードドライブの一部。下右: 福祉クラブ

4月には新たに相鉄ローザン3店舗、クイーンズ伊勢丹横浜店でフードドライブが始まる予定です。  
皆様、一層のご協力ご支援をお願いいたします。

## 合意書締結団体

寄贈締結団体	146団体
提供締結団体	208団体
行政・社協	52団体
市民団体	156団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

## 賛助会員寄付状況

団体会員	167団体	606口 606万円
個人会員	251人	1238口 1,238千円
2020年寄付金		23,542,818円
寄付累計		34,871,261円

## 事業推進委員メッセージ

### 片山 丸

(生活クラブ生活協同組合  
たすけあいネットワーク事業部部長)



生活クラブ生協では今年度は2021年2月に全配達コースでフードドライブを実施しました(生活クラブのお店の「デポー」でのフードドライブは、昨年の8月に実施しています)。

昨年度(2019年8月)に行ったフードドライブは776kgでしたので、今年度は配達委託をしているコースも取り組んだことを踏まると、1.5t程度を予測していましたが、実際にふたを開けてみたら昨年度の3~4倍(最終集計は今後)の重量の食品寄贈がありました。

コロナ禍で食料が手に入れられない生活困窮者の方々の実情に思いを馳せ、何とか支援したいという生活クラブの組合員の想いが昨年度とは比べ物にならない量の食品寄贈につながったと言えます。組合員が自主的に宅配で行うフードドライブ(夏)でも50余名の参加があり、今でも継続していると聞いています。地域生協やコモンズ・デポーでのフードドライブもあります。組合員は食品仕分けのボランティア、賛助会員の呼びかけにも大勢が応えてくれています。

フードバンク通信も今後、地域生協のリーダー層にも配布する予定で、ますますフードバンク活動への理解と共感が拡がってほしいと思っています。



横浜北生活  
クラブ大丸デ  
ポーから宅配



ボランティア  
参加も

ユーモア79店舗実施 累計8t  
冬季フードドライブ3.5t



ヨーカドー18店舗(常設)  
累計6t弱



行政・社協の学生支援・ひとり親支援が増え、8月に棚はガラガラに。右はフードドライブが充実した2月の棚。



8月



2月

⇒⇒⇒⇒

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を 「分かち合い」「ありがとう」へ



29号

## 綾瀬市食料提供で連携

連携

### 福祉総務課×市社協×市民団体×フードバンク×フードドライブ

綾瀬市では福祉総務課・社協・市民団体が、食料無料提供企画「フードリンクあやせ」を実施。市・社協が事務局となり、子ども食堂、地域交流サロン運営団体など8団体が共同で担う。実施に先立ち市民に食品寄付を呼び掛け、169件4,547個の食品が寄付された。24日に関係者による仕分けと米の計量が行われ、26日27日に各100セット（1袋15個相当）を準備。フードバンクかながわからは米200袋、缶詰、レトルトカレー、ビスケット、飲み物を提供。当日は、2日間で約100名が利用した。仕分けに参加した市民からは「継続したいね」という声があがり、今後に綾瀬市でのフードバンク設立が期待される。（荻原）



## 金沢区ひとり親世帯向け食料支援で連携

### 民児協×区社協×福祉保健課×市民×フードバンク×企業



3月21日(日)金沢区役所でひとり親食品支援が実施された。20年度の民生委員児童委員活動費での食品購入と区役所フードドライブ品、フードバンクかながわ、企業からの食品の寄贈による。12月に横浜社協が行ったひとり親食支援者の中から金沢区在住の63世帯へ連絡。区役所ロビー・会議室の貸し出し、食品の搬入・袋詰めを担った。相談窓口は設置しないが相談のチラシ等を封入。金沢区の民児協は21年度も2回程度の支援を予定している。100世帯分用意し当日申しこみは81世帯。（土山）

## 横浜市立大学の学生支援



横浜市立大学では3月26日アルバイト収入減などで生活が厳しい一人暮らしの学生に食支援を実施。フードバンクかながわ、フードバンク横浜、区社協、区のフードドライブ、民児協、セブンイレブンジャパンが協力し150人分を用意した。

## 米作り 瀬谷小学校の子どもたち



授業での米作りを体験した後、小学生が栽培したお米12kgをフードバンクへ寄贈してくれた。当日『食品のひみつ』（裏ページ参照）を使い、食品ロスについて30分の授業でお返し。



## フードドライブで お気をつけ頂くとありがたいこと。



皆様からたくさんのお心のこもった食品を頂いております。フードドライブ品の増加はうれしい限りですが、時にはご提供できない食品もあります。

### フードバンクにかながわに提供された NO GOOD の食品 NO 3

第1位 アルコール類 贈答品のビールやサワーなど

第2位 賞味期限切れ

賞味期限の記載のない食品や、贈答品で外箱に書かれており、中の食品に記載のないもの。

※大事にしまわれていたらしく期限が5年前という食品もきます。

第3位 破袋、あるいは 開封済みの食品

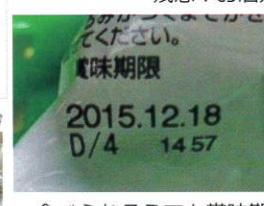
番外編：ペットフード・冷蔵品



残念！お酒類はNO

GOOD

冷蔵品もNO GOOD



食べられそうでも賞味期限切れは NO GOOD



おいしそう！でもよく見ると犬猫用でした！



高級食品も賞味期限がないと NO GOOD

●米は再精米するため、開封済み、少し古いものでも大丈夫ですが、保存中変色したものは美味しいありません。

●さとう、塩、ガムは基本的に賞味期限はありません。

●フードドライブの食品は、誰かに食べて頂くものです。

「期限が切っていますが、食べられます」は不可です。提供できない食品は最終的には中身を出し、分別して廃棄しています。:(泣)



廃棄を待つ食品たち



残念！テープで貼っても開封済はNO GOOD



賞味期限がない個装もNO GOOD



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com)  
236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
TEL 045-349-5803

発行責任：藤田 誠

## 基本情報 2020年度の累計 (2021/3/31現在)

寄贈された食品	1208回	210.2トン	提供した食品	2298回	194.2トン
企業等	411回	166.6トン	行政・社協	615回	47.7トン
フードドライブ	797回	43.6トン	地域のフードバンク	365回	53.0トン
(2月報告の54.2トンは間違い)			こども食堂等	862回	60.1トン
			自立支援施設	71回	3.3トン
			福祉・病院関係	346回	29.6トン
			調整		0.4トン

2月は寄贈 27.1トン  
提供 14.5トン

(2019年度実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

3月の状況 3/1~3/31 寄贈 19.1トン 提供 22.9トン

【寄贈食品】19.1トン 【提供食品】22.9トン 126 团体 209回					
事業者	8.1トン	行政・社協	4.8トン	32団体	53回
フードドライブ	11.0トン	地域のフードバンク	5.7トン	19団体	35回
敬称略で報告します。		こども食堂・居場所	7.1トン	48団体	75回
		施設関係	0.2トン	4団体	5回
		福祉病院関係	5.1トン	23団体	41回

### 寄贈

経済活動の再開により企業寄贈は増えていない。継続寄贈として日本食研よりたれ類364kg、日生協よりそーめん323kg、佐藤食品より切り餅153kg、森定食品より常温のシラタキ203kgの寄贈があった。

**米一合運動** 年間で県内労働団体からの米寄贈は4,385kg。4~9月が18kgであったのに対し米一合を運動化した10月以降4,367kgの寄贈となり、運動は大勢の共感を得た。

**フードドライブ** 労働組合関係18団体980kg。新潟県フードバンク連絡協議会より米2,040kg。川崎信用金庫3,218kg。JAかながわ西湘女性部280kg。神奈川県共同募金会330kg。福祉クラブ540kg。

### 提 供

●金沢区では社協・民生/児童委員共同で81世帯に対し、綾瀬市は市・社協・市民団体が200人を対象に、さらに横浜市立大では150名対象に食支援を実施し、フードバンクからも提供。

●新規の団体は戸塚区の子ども食堂DOTHEMOTION、逗子の不登校支援のフリースペースおかえり、金沢区のビルマ人支援リンクトウミヤンマー、川崎市でフードパンツリーを行う川崎労働組合連合に提供開始。

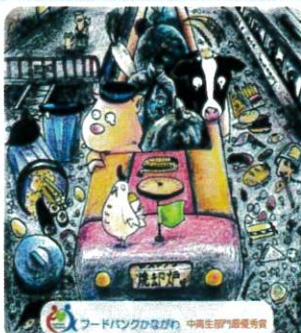
●3月は2月より3日多いが、行政で1.5トン、地域のフードバンク1.7トン、子ども食堂2.8トン、福祉関係2.1トンと利用が伸長している。学生、ひとり親のほかに、高校生、外国人につながる人、女性などコロナによる困窮支援の幅や回数が拡がったと推測できる。

## 食品ロス削減コースター最優秀賞決定

フードバンクかながわが暮らしの中での食品削減をめざし実施したコースターデザイン募集には、応募総数123点寄せられ、厳正に選考の上、優秀作品、最優秀作品を決定した。優秀作品には一般5千円、中高・小学生には2千円のクオカードを贈呈。最優秀作品は一般1万円、中高・小学生5千円のクオカードを贈呈し、コースターとして作成した。

### 最優秀作品

小学生部門・富ヶ原杏奈さん 中高生部門・小山充星さん 一般部門・笠井香織さん



### 優秀賞

小学生部門  
石川星来さん  
永井莉央さん  
中高生部門  
伊藤麻凜さん  
福井愛美さん  
一般部門  
林俊平さん  
榎本縁さん

### 賛助会員寄付状況

団体会員	167団体	606口
		606万円
個人会員	251人	1243口
		1,243千円
2020年寄付金		24,866,654円
日本農産工業(株)	より100万円の寄付	
寄付累計		36,195,097円

### 合意書締結団体

寄贈締結団体	155団体
提供締結団体	215団体
行政・社協	53団体
市民団体	162団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係含む)	

### 事業推進委員メッセージ

#### 金澤 秀人

(ごくみん共済coop神奈川推進本部  
事業推進部次長)



ごくみん共済coopでは、新型コロナウイルス感染症対策を行なながら、従来の対面型とオンラインを併用し、新しい業務形態に対応した取り組み活動を行っています。東日本大震災から10年、阪神・淡路大震災から25年、熊本地震から5年という節目にあたり、大規模災害から組合員の暮らしを守り、豊かで安心できる社会づくりを進めるため、「これから防災・減災運動」を6月から本格展開してまいりますが、こうした取り組みは、SDGsのめざす「誰一人取り残さない社会づくり」に通じるものもあります。

「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」の相互扶助の社会づくりを目指す、「フードバンクかながわ」の活動は、着実にその輪が広がっていると感じています。引き続き、労働福祉団体、生活協同組合等、関係団体間の連携を深めながら、取り組んでいきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

### フードバンクふじさわ設立総会

運営委員に選出された皆さん



フードバンクかながわは2020年4月「藤沢にフードバンクをつくる」フォーラムを企画しましたが、コロナ禍となり延期してきました。

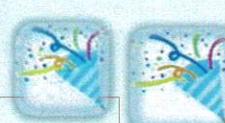
この度、『ふじさわ福祉NPO法人連絡会』は協力を得て、新たな組織『フードバンクふじさわ』を設立させました。設立総会には藤沢市長・正副議長、社協会長、いきいき福祉会理事長とともに、當具フードバンクかながわ共同代表が挨拶しました。



右：當具フードバンクかながわ共同代表  
左：鈴木市長

### 食品ロス削減副読本

「みらいちゃんとつなぐくんの食品のひみつ」



小学校高学年・中学生向け。  
ホームページでご覧下さい。

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



## 富士フィルム生協より防災備蓄品1万食

### 寄贈

食品ロス削減意識が拡がり、切り替え時にはフードバンクへの食品寄贈が増える。かつて乾パンに代表された防災食だが、おいしく頂ける工夫に満ちているものが多い。おいしく役立っている。



サンマのかば焼き、きんぴらごぼう、ホタテかゆ、ビスコ、ビスケット、ラーメンなど、様々。企業・自治体・学校・自治会のほかに(一社)食品ロス・リボーンセンターなどの仲介団体からも寄せられる。



## 「柴口このみのおいしい水」の寄贈



フードバンクかながわ事務局小林薫さんは元横浜市水道局職員、水へのこだわりがあります。

横浜市のオフィシャルウォーター「はまっ子どうしThe Water」は、横浜市と横浜シーサイドラインが連携し、横浜のおいしい水と水源保全を訴える。売り上げの一部が水源保存活動に寄付されている。コロナ禍での販売縮小によりフードバンクに寄付され、食品ロス削減と福祉に活用された。

### 伊藤園より煎茶/昆布茶

コロナ禍でホテルで提供する煎茶、昆布茶の利用が激減。3050個の提供。

フードバンクかながわは、設立から4年目を迎えます。この3年間を振り返ると1年目の取扱量が46トン、2年目が97トン、そして昨年度はコロナウィルス感染症拡大の影響もあり、210トンと大きく伸長しました。

しかし、神奈川県内の家庭から出される食品ロス22万トンからみると0.1%に過ぎません。また神奈川県内で生活保護支給額以下の収入の方が約150万人いると推定していますが、その1割、約15万人の方が食支援が必要と仮定すると約5.5万トン/年の食品が必要で、0.4%に止まっています。そして、前記の2つ「食品ロスと食支援」を結びつけるため、たすけあい・支え合いの食支援活動もまだ不足していると思われます。

また、弊団体の現在の取扱品は「常温保存可能食品とお米」が中心で、野菜や冷凍品、生鮮品の取扱いの要望も増えており、検討が必要であると考えています。

2021年度は、フードバンクかながわの設立目的(モットー)である「もったいない」を「分かち合い」～「ありがとう」へを一層すすめる所存ですので、より多くの皆様のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

### 事務局長メッセージ



事務局長 藤田 誠

## 日本農産工業株より卵スープ/ふかひれスープ

20年に引き続き25,500食のスープの寄贈。



相鉄ローゼン泉区3店舗。  
いずみ中央店/山手台店/ひなた山店でフードドライブが始まっている。



相鉄ローゼンいずみ中央店  
写真:竹中まみさん

### フードドライブ 160拠点超に

無印良品の店舗で  
フードドライブ提携開始  
5月中旬から15店舗で。

MUJI comシアル鶴見店/新横浜ペペ店/トレッサ横浜店/ららぽーと横浜店/日吉東急店/そごう横浜店/横浜ジョイナス店/NEW Man YOKOHAMA店/Corette/Mareみなとみらい店/ジョイナステラス二俣川/オーロラモール東戸塚店/ノーズポートモール港北店/MUJI comビーンズ中山/東急プラザ戸塚店/港南台バーズ店

### 生活クラブたかつデポー

かわさき生活クラブたかつデポーでのフードドライブは、チラシによる呼びかけで30人から180個の持ち込みがあり、段ボール11個分が寄贈された。



また川崎医療生協との連携で食品支援(フードパントリー)も行った。5名来所し予約希望が10名あるなどの反響。



写真:  
たかつデポー



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわinfo@fb-kanagawa.com  
236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
TEL 045-349-5803

発行責任:藤田 誠

## 基本情報 2021年度の累計 (2021/4/30現在)

寄贈された食品 回 11.6トントン

企業等 35回 7.4トントン  
フードドライブ 70回 4.2トントン

提供した食品 203回 15.1トントン

行政・社協	54回	3.6トントン
地域のフードバンク	32回	4.0トントン
こども食堂等	85回	5.3トントン
施設	5回	0.5トントン
福祉・病院関係	27回	1.7トントン

3月  
寄贈 19.1トントン 提供 22.9トントン

(2020年度実績 寄贈 210トントン・提供 194トントン)

4月の状況 4/1~4/30 寄贈 11.6トントン 提供 15.1トントン

【寄贈食品】11.6トントン		【提供食品】15.1トントン		131団体	203回
事業者	7.4トントン	行政・社協	3.6トントン	30団体	54回
フードドライブ	4.2トントン	地域のフードバンク	4.0トントン	20団体	32回
敬称略で報告します。		こども食堂・居場所	5.3トントン	60団体	85回
		施設関係	0.5トントン	4団体	5回
		福祉病院関係	1.7トントン	17団体	27回

### 寄贈

**事業者寄贈** 横浜市水道局の水2800本、伊藤園のホテル仕様ティーパック3050個、日本農産工業の卵スープ他25000食、日本食研のたれ類8000個の寄贈。防災食品では富士ファーム生協より13000個のクラッカーなど。

**フードドライブ** イトーヨーカドー1トン、ユーノーブル常設店326kg、泉区そうてつローザン3店舗90kg、金沢区イオン2店舗59kg。労組関係から1.5トン、宅配で28件337kg。

### 提供

横浜市ひとり親支援(民間委託) 1トントン、相模原市学生支援700kg。川崎市638kg、横浜市14区社協348kgが多い。市民団体の食支援活動は、瀬谷区お福分の会842kg、横須賀市フードバンクかながわプラス493kg、小田原市報徳食品支援センター470kg。川崎医療生協435kg、茅ヶ崎市さろんごで271kg、川崎市青丘社281kg。子ども食堂関係は59団体が活動している。

### ボランティア

コロナ禍での限定受け入れ。  
のべ61名。



## 青葉フードシェアネットワークの活動

報告 若林 智子さん

昨春開催したフードバンクかながわのコロナ禍における食支援を学ぶミニフォーラムをきっかけに、青葉区内で**フードドライブやパントリー**の活動が広がり、「青葉フードシェアネットワーク」として連携した活動も進めています。

- ①小学校6年生の教室へ出前授業 写真①
- ②市ヶ尾デポーでのフードドライブ 写真②
- ③スペースナナでのパントリー 写真③
- そしていま取り組んでいるのが  
④フードシェアガイド作成ヒアリング 写真④

各区の区役所に食支援や生活困窮者自立支援制度の活用状況などについてのヒアリングも続けてきました。活動を通じ、食支援の活動の多くを民間団体が担っていることや、各区の取り組み状況には温度差もあること、フードシェアに関する情報に行き届いていないことなど、いくつかの課題に気付きました。

そこで、フードシェアの活動を見る化する「フードシェアガイド」を作ることにしました。フードバンクかながわのホームページから登録団体をピックアップしたり、口コミで得た身近な地域の情報を頼りに、フードドライブなどに取り組む団体にお話を聞くことから始めました。なぜ、この活動を始めたのですか？ どんなニーズが見えていますか？ と言ったインタビューを通じ、新たな発見や繋がりが生まれています。フードシェアへの参加が広がることを目指してガイドブック作製プロジェクトをさらに進めます。

詳しくは [青葉フードシェアネットワーク | Facebook](#)

### 合意書締結団体

寄贈締結団体	162団体
提供締結団体	215団体
行政・社協	53団体
市民団体	166団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	

### 賛助会員寄付状況

団体会員	167団体	606口
		606万円
個人会員	252人	1255口
		1,255千円
寄付累計	36,195,097円	

### ぼちっとカフェの食料支援

高校生  
居場所

川崎市立川崎高校(定時制)では毎週金曜日の夕方、オープンスペースを活用し居場所・学習支援の場「ぼちっとカフェ」を開催する。運営を行っているのは社会福祉法人青丘社・ふれあい館だ。4月23日、30日に開かれたカフェをふれあい館の鈴木健さんに聞いた。

食料支援のない日の参加は20名だが、23日は50人ぐらい、30日は70名以上の高校生がきて、どんな食料がもらえるのかとってもワクワクした感じでした。お米やスパゲッティなどは家族がとっても助かる、カップラーメンやレトルトカレーなどは自分用にうれしい、とみんな話していました。



家の食料が尽きてという家庭もあるようです。  
(ふれあい館 鈴木健さん・写真モ)

### ○外国につながる方より

・二人の子供が小さくてまだ奥さんが働きに出られません。残業無しの日も多く、定期的に毎月たすけてもらえて本当に助かっています。

### ○ひとり親の方から

・仕事量が減って困っている時で本当にうれしいです。子どもたちがレトルトカレーを喜んで食べています。食べ盛りの子どもの間食・おやつにも利用させて頂いています。(40代)

・食べ盛りの中学生がいますがおかげで安心して過ごせています。毎回お米は大変助かります。まだまだ苦しく、ぜひ続けてほしいです(40代)

### コロナ禍での食品利用者から届いた声



### フードシェアガイド作製プロジェクト始動！

④



### 「青葉フードシェアネットワーク」の参加団体は

横浜北生活クラブ生協 / NPO法人  
ビッビ・親子サポートネット / NPO法人  
スペースナナ / フードシェア・青葉 /  
フードシェアいちがお / 市が尾デポー運営委員会 / わかばコモンズ運営委員会

写真提供：青葉フードシェアネットワーク